

## 2017年度 第2回雪氷学会関東以西支部 理事会議事録

日時:9月26日 16:00 — 17:00

場所:クロステン十日町 C会場(3階)

児玉、青木、安木、中澤、鈴木、縫村、雪野、矢吹、堀 (理事:8名、監事:1名)

理事総数(11名)理事会定足数8名:

### 1. 支部長挨拶

児玉支部長より理事会での近況報告

### 2. 今年度の各計画事業の進捗状況報告

#### 1) アゴラ2017への出展について(堀)

2017年11月25日(土)10:00—16:00

「雪の重さってどのくらい?実際にはかかって感じてみよう。」

会場下見、今年はテレコムセンター(会場が変更になった)4Fのロビーの一部

3×3mのスペースあり(昨年度よりスペースが狭くなった)

対応員は6名必要(堀さん、宍戸さん、縫村さん、鈴木さん、いない場合は学生のバイトもあり得る)

・古い雪と新しい雪の違いを見てみよう。

・密度の測定

・NIRカメラによる雪質の変化を見てみよう。(岡山大)

現在の予算執行予定:10万円

準備状況:場所をおさえている。

理事他、ボランティアを募っている。なるべく当日参加してほしい。

#### 2) 支部賞(飯田(矢吹代理報告))

2016年度支部賞に関して日程に関して報告

・昨年度の支部賞選考委員からの提言がありそれをもとに、支部賞規定の見直しをすること

・日程的な見直しをすること

上記2点を確認した。

#### 3) シモバシラ観察会 in 神戸(児玉)

シモバシラ観察会、神戸で行う(武田一夫会員)ので関東以西支部では後援する。

雪野監事の協力も得られる。

来年度は東京方面でも企画を行うこととした。

### 3. 予算執行

- ・通常の予算:245000 円
- ・サイエンスアゴラ:7 から 8 万円
- ・シモバシラ講習会:3 万円
- ・項目外の使用も支部理事会の承認を得られれば可能である。

#### 追記

支部理事会で話題のあった「特定積立金」に関して安木理事よりメールで報告があったので追記する。

特定積立金は講演会事業を対象にして使用できるお金で、年間の支部予算とは別に各支部で 25 万円の割り当てがありこのお金を4年(平成 28 年度～H31 年度 3 月末)の期間で使用できます。若干 25 万を上回った端数が出て構いません。

講演会と名前がついていますが、研究会、研修会、講習会などある程度幅をもって用途を設定いただいて構いません。

関東以西支部では、昨年度 46,720 円を使用済みで今年度は GIS 講習会出席で 62,640 円を使用しておりますので

残りは  $250,000 - (46,720 + 62,640) = 140,640$  円

### 4. その他

- ・平松理事より、西日本で理科教員への「雪氷教育用教材紹介を行う勉強会」の提案があった。(矢吹)

今年度中に広島方面で行うこと計画している。関東方面より講師の派遣を行う。

- ・山岸理事担当の積雪講習会に関してどうなっているかを質問

雪野監事より

関西方面で雪氷の普及活動を行う。

カンボジアでのコンサル活動を今後 3 年間おこなう。そこでも雪氷の普及活動を行うので、関東以西支部への協力依頼があった。

以上。